科目ナンバリング	U-LAS02 10008 LJ36						
授業科目名<英訳>	国語国文学II Japanese Philology and Literature II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 佐野 宏		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本文学における代表的な古典から、とくに萬葉集を講読する。萬葉集全二十巻を巻毎に取り上げつつ、和歌を抄出して講読している。各巻の概要や部立てのあり方、歌学における萬葉歌の享受史に触れながら、日本古典研究の基礎的な知識の習得を目的とする。ゆったりと萬葉歌の鑑賞を行う予定である。今期は巻15から16の作品を取り上げる。

[到達目標]

萬葉歌について一般的な解釈を踏まえつつ、自らの審美眼で作品を鑑賞できるようになることを目的とする。

[授業計画と内容]

1 萬葉集について（古代和歌史概説を含む）
2 巻15・3723〜中臣宅守の流刑の原因概説
3 巻15を読む ①遣新羅使人歌群と宅守・娘子贈答歌群の類似性「生別と死別の相関」
4 巻15を読む ②防人歌群における「挽歌的性格――生別と死別」
5 文芸における「無常」の価値と現実の素材化
6 恒常の否定と無常の否認――戯れの美学
7 贈茅上娘子十三首（3754〜3766番歌）①
8 贈茅上娘子十三首（3754〜3766番歌）②
9 贈茅上娘子十三首（3754〜3766番歌）③
10 贈茅上娘子十三首（3754〜3766番歌）④
11 贈宅守八首（3767〜3785番歌）①
12 贈宅守八首（3767〜3785番歌）②
13 贈宅守八首（3767〜3785番歌）③
14 まとめ
15 フィードバックと補足

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義期間の最終日に基礎的な事項の確認試験を行う（60%）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40%）を総合的に加味して評価する。

国語国文学II(2)へ続く↓↓↓

国語国文学II(2)

[教科書]

井手至、毛利正守 『新校注　萬葉集』（和泉書院）
坂本信幸、毛利正守 『萬葉事始』（和泉書院）ISBN:978-4-87088-728-2
上記テキストを持参しているものとして講義を行う。

[参考書等]

（参考書）
内田賢徳 『萬葉の知』（塙書房）ISBN:978-4827335941
『萬葉の知』はとくに巻13と記紀歌謡、挽歌と相聞の質的な関係を考える上で示唆に富む。なお『セミナー万葉の歌人と作品』（和泉書院）のシリーズのうち、講義で該当する箇所を予め通読しておくことが望ましい。

[授業外学修（予習・復習）等]

プリントを配付するので、次回分については注釈書類を用いて通釈を読んでおくこと。その場合、新編日本古典文学全集、新日本古典文学大系、岩波文庫本の三種類の通釈（現代語訳）を比べて、どこが異なるかを確認しておくとよい。

[その他（オフィスアワー等）]

火曜日3コマ目、木曜日の4コマ目をオフィスアワーにします。木曜日は会議が入りやすいので、事前に確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]